

【NO 493】

令和4年3月

南九州沿岸域における台風避泊に関する調査研究委員会

1 委員会報告書概要

この委員会では、台風の常襲地帯である南九州沿岸域における船舶交通の安全を確保するために発刊されている、第十管区海上保安本部監修の「台風避泊ガイド 改訂版」について、発刊後10数年が経過していること、また、近年の台風の勢力がより強くなっている傾向にあることから、当該「台風避泊ガイド 改訂版」のフォローアップに関して調査するとともに、現在志布志湾及び喜入港周辺海域において講じられている走錨事故防止対策の検証等を行った。

調査及び検証等は、近年南九州沿岸域に接近した台風のデータを収集・整理するとともに、台風接近時に同海域を航行或いは避泊した船舶のAISのデータを収集して解析することにより、台風接近時の航行船舶の動静を把握して行った。

併せて、これらの船舶に対するアンケート調査及びヒアリングを行い、操船者の具体的な対応等を調査、検証（確認）したうえで、「台風ガイド 改訂版」に反映すべき事項と台風襲来時の航行の安全確保の参考になると思われる事項を取りまとめた。また、現在、走錨事故防止対策が講じられている志布志湾及び喜入港周辺海域においては、対象海域における錨泊の自粛等の対策が守られ、走錨に起因する事故は発生していないことが確認された。

2 調査等概要

- (1) 調査計画
- (2) 基礎調査
- (3) 台風襲来時における船舶動静の調査
- (4) 走錨事故防止対策効果の検証(確認)
- (5) 台風避泊に関するアンケート調査
- (6) 台風避泊ガイド 改訂版に反映すべき事項等のまとめ